

滋賀県の産業振興についてのアンケート結果

県では、「滋賀県産業振興ビジョン 2030」に基づき、産業振興施策を進めているところであり、このたび、今後の産業振興施策に活かしていくため、県民意識調査を実施しました。

調査時期:令和6年2月

対象者:県政モニター294人

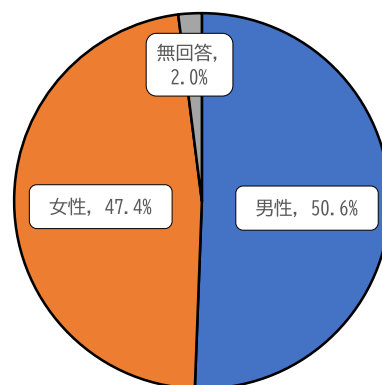
回答数:249人(回収率 84.7%)

担当者:商工観光労働部 商工政策課

【属性】

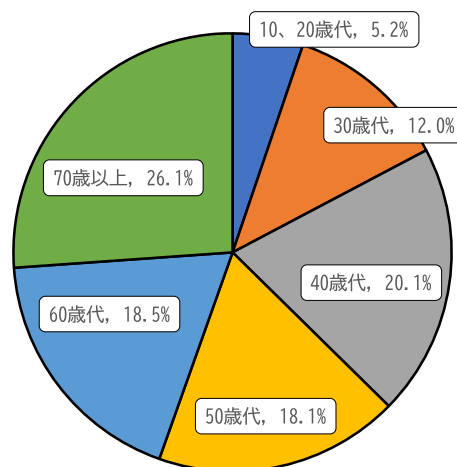
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	126	50.6
女性	118	47.4
無回答	5	2.0
合計	249	100.0



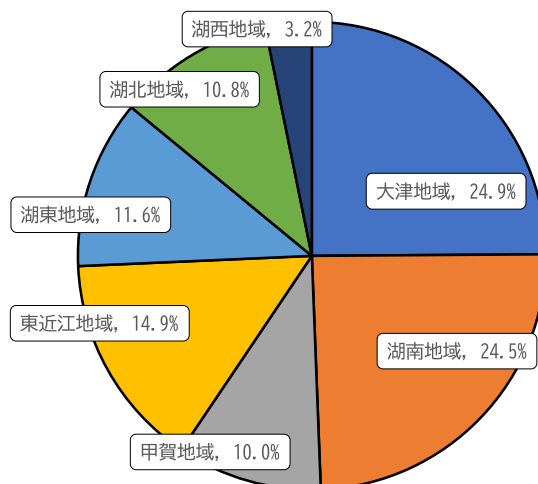
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10、20歳代	13	5.2
30歳代	30	12.0
40歳代	50	20.1
50歳代	45	18.1
60歳代	46	18.5
70歳以上	65	26.1
合計	249	100.0



◆地域

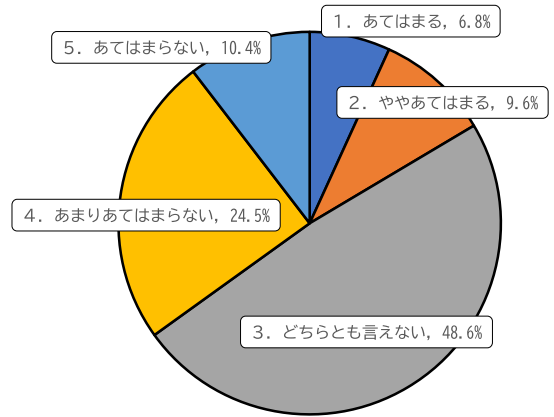
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	62	24.9
湖南地域	61	24.5
甲賀地域	25	10.0
東近江地域	37	14.9
湖東地域	29	11.6
湖北地域	27	10.8
湖西地域	8	3.2
合計	249	100.0



【問1】暮らし向きについて

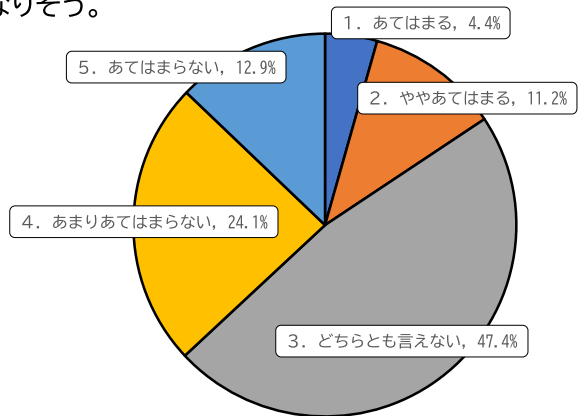
(1)1年前と比べて、自分の世帯の暮らし向きは良い。

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	17	6.8%
2. ややあてはまる	24	9.6%
3. どちらとも言えない	121	48.6%
4. あまりあてはまらない	61	24.5%
5. あてはまらない	26	10.4%
合計	249	100.0%



(2)1年後の自分の世帯の暮らし向きは、現在と比べて良くなりそう。

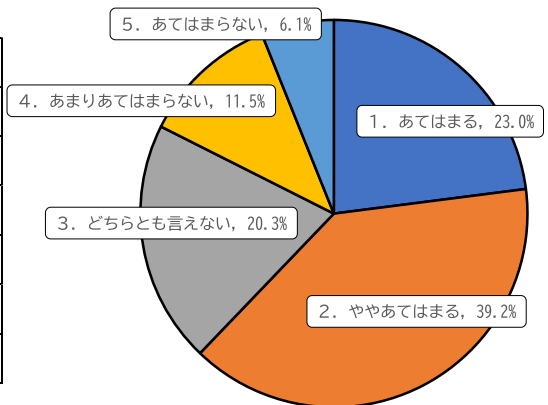
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	11	4.4%
2. ややあてはまる	28	11.2%
3. どちらとも言えない	118	47.4%
4. あまりあてはまらない	60	24.1%
5. あてはまらない	32	12.9%
合計	249	100.0%



【問2】仕事について(就労されている方のみ回答。n=148)

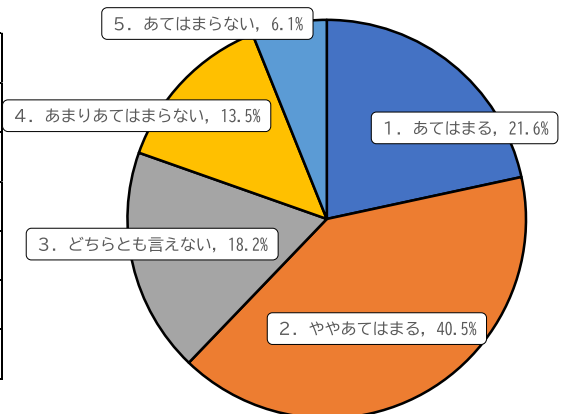
(1)自分の仕事にやりがいや充実感を感じている。

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	34	23.0%
2. ややあてはまる	58	39.2%
3. どちらとも言えない	30	20.3%
4. あまりあてはまらない	17	11.5%
5. あてはまらない	9	6.1%
合計	148	100.0%



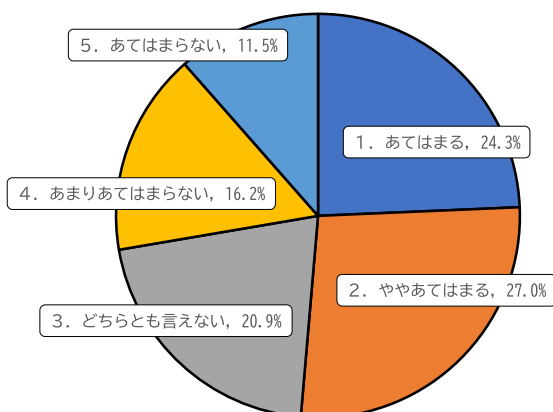
(2)仕事と生活のバランスが取れている。

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	32	21.6%
2. ややあてはまる	60	40.5%
3. どちらとも言えない	27	18.2%
4. あまりあてはまらない	20	13.5%
5. あてはまらない	9	6.1%
合計	148	100.0%



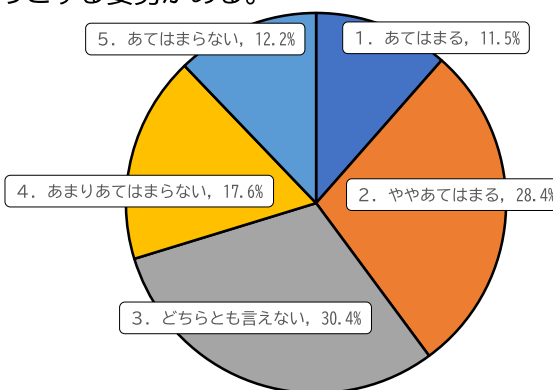
(3)就業やキャリアアップ、転職に役立てるための学びや必要なスキルの習得・向上(リスキリング)、自己啓発を行っている。

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	36	24.3%
2. ややあてはまる	40	27.0%
3. どちらとも言えない	31	20.9%
4. あまりあてはまらない	24	16.2%
5. あてはまらない	17	11.5%
合計	148	100.0%



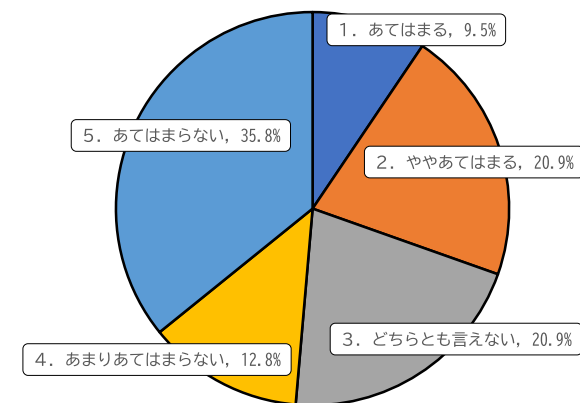
(4)勤務先には、スキルアップやキャリアアップを後押ししようとする姿勢がある。

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	17	11.5%
2. ややあてはまる	42	28.4%
3. どちらとも言えない	45	30.4%
4. あまりあてはまらない	26	17.6%
5. あてはまらない	18	12.2%
合計	148	100.0%



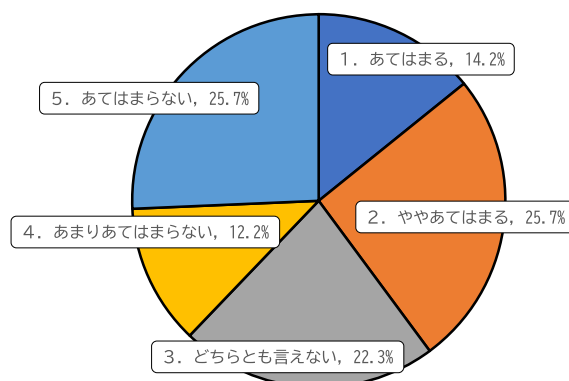
(5)勤務先では、1年前と比べて、副業や兼業をはじめ、テレワークなどの多様な働き方の選択肢が提供されている。

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	14	9.5%
2. ややあてはまる	31	20.9%
3. どちらとも言えない	31	20.9%
4. あまりあてはまらない	19	12.8%
5. あてはまらない	53	35.8%
合計	148	100.0%



(6)勤務先では、1年前と比べて、業務のオンライン化やデジタル化が進んでいる。

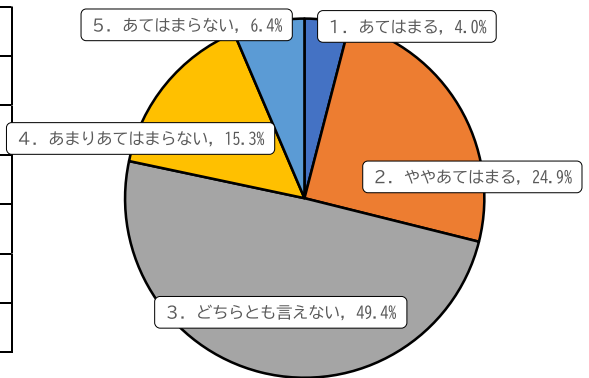
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	21	14.2%
2. ややあてはまる	38	25.7%
3. どちらとも言えない	33	22.3%
4. あまりあてはまらない	18	12.2%
5. あてはまらない	38	25.7%
合計	148	100.0%



【問3】労働環境について

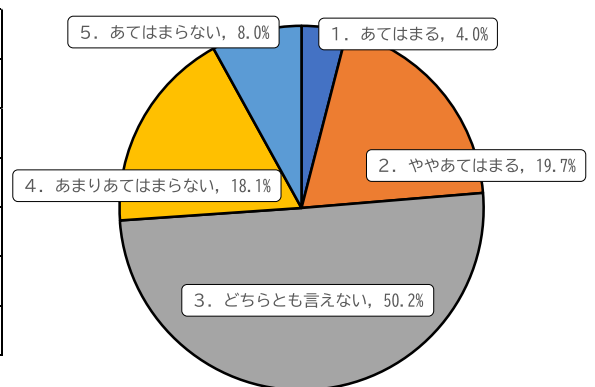
(1)お住まいの市・町では、働く意欲がある人たちの雇用が確保されている。

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	10	4.0%
2. ややあてはまる	62	24.9%
3. どちらとも言えない	123	49.4%
4. あまりあてはまらない	38	15.3%
5. あてはまらない	16	6.4%
合計	249	100.0%



(2)お住まいの市・町では、年齢や性別、障害の有無、国籍にかかわらず、働きやすい環境が整っている。

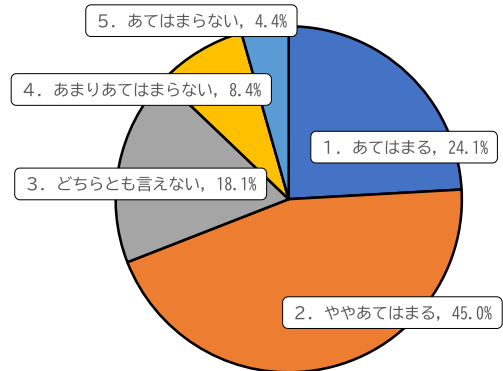
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	10	4.0%
2. ややあてはまる	49	19.7%
3. どちらとも言えない	125	50.2%
4. あまりあてはまらない	45	18.1%
5. あてはまらない	20	8.0%
合計	249	100.0%



【問4】自然、歴史・文化、観光について

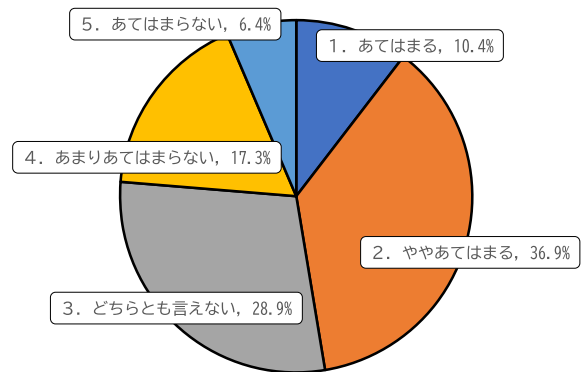
(1)お住まいの市・町に誇りや愛着を感じる。

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	60	24.1%
2. ややあてはまる	112	45.0%
3. どちらとも言えない	45	18.1%
4. あまりあてはまらない	21	8.4%
5. あてはまらない	11	4.4%
合計	249	100.0%



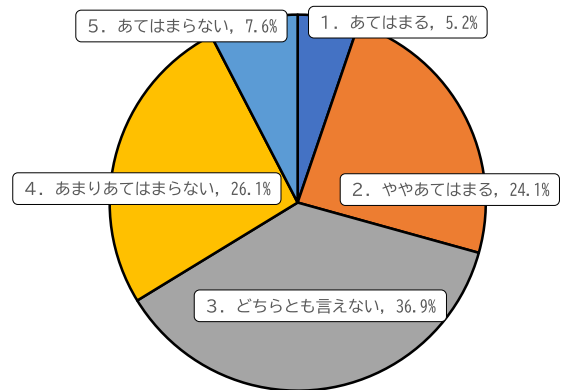
(2)お住まいの市・町では、地域の「宝」(自然資源、歴史・文化資源、伝統産業など)やスポットが産業振興に活かされている。

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	26	10.4%
2. ややあてはまる	92	36.9%
3. どちらとも言えない	72	28.9%
4. あまりあてはまらない	43	17.3%
5. あてはまらない	16	6.4%
合計	249	100.0%



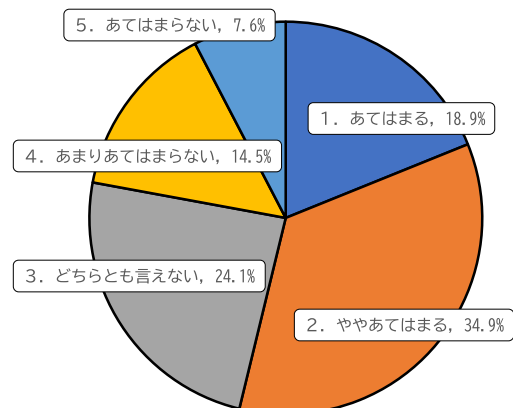
(3)お住まいの市・町では、キャッシュレス決済や多言語表示など外国人訪問客を受入れる体制が整っている。

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	13	5.2%
2. ややあてはまる	60	24.1%
3. どちらとも言えない	92	36.9%
4. あまりあてはまらない	65	26.1%
5. あてはまらない	19	7.6%
合計	249	100.0%



(4)お住まいの市・町には、世界に誇れる企業がある。

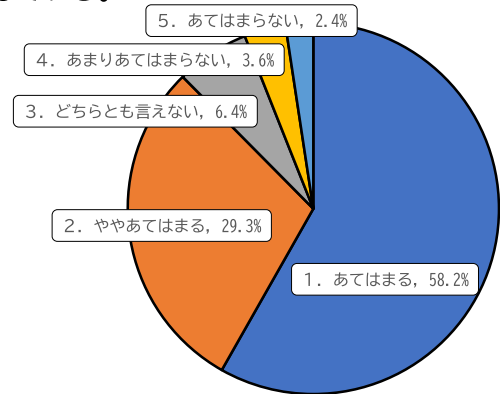
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	47	18.9%
2. ややあてはまる	87	34.9%
3. どちらとも言えない	60	24.1%
4. あまりあてはまらない	36	14.5%
5. あてはまらない	19	7.6%
合計	249	100.0%



【問5】生活環境について

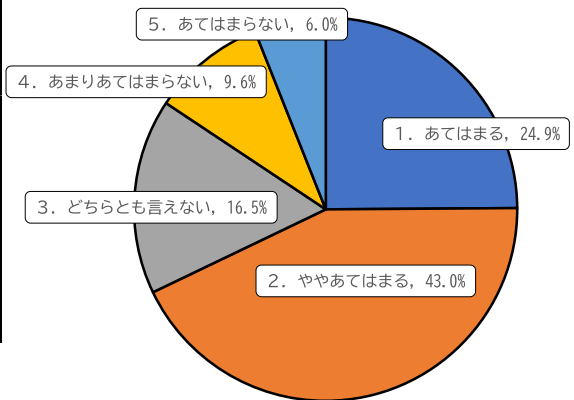
(1)食品や日用品の購入は、地元の商店街やスーパーを利用している。

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	145	58.2%
2. ややあてはまる	73	29.3%
3. どちらとも言えない	16	6.4%
4. あまりあてはまらない	9	3.6%
5. あてはまらない	6	2.4%
合計	249	100.0%



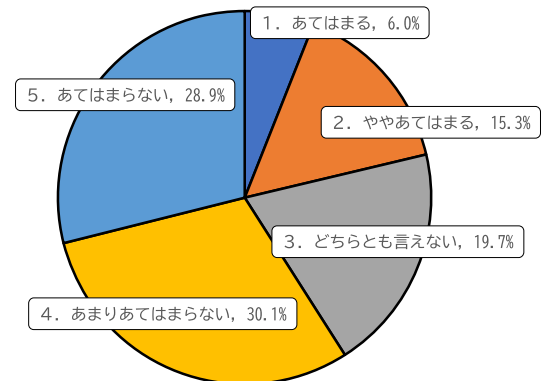
(2)お住まいの市・町や県内でとれたものや生産された商品を意識して買っている。

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	62	24.9%
2. ややあてはまる	107	43.0%
3. どちらとも言えない	41	16.5%
4. あまりあてはまらない	24	9.6%
5. あてはまらない	15	6.0%
合計	249	100.0%



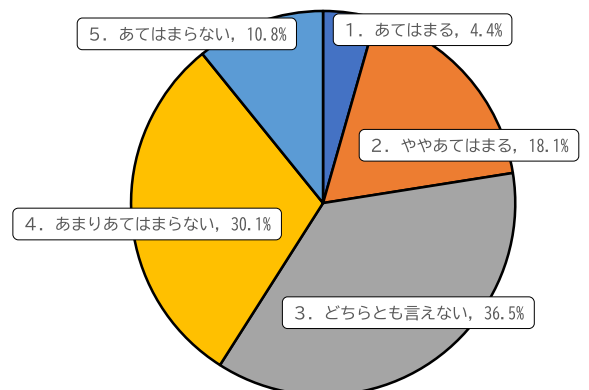
(3)お住まいの市・町の駅前や商店街には活気がある。

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	15	6.0%
2. ややあてはまる	38	15.3%
3. どちらとも言えない	49	19.7%
4. あまりあてはまらない	75	30.1%
5. あてはまらない	72	28.9%
合計	249	100.0%



(4)お住まいの市・町には、地元の産品を取り扱ったり、介護や子育てなど地域の課題を解決してくれる企業が充実している。

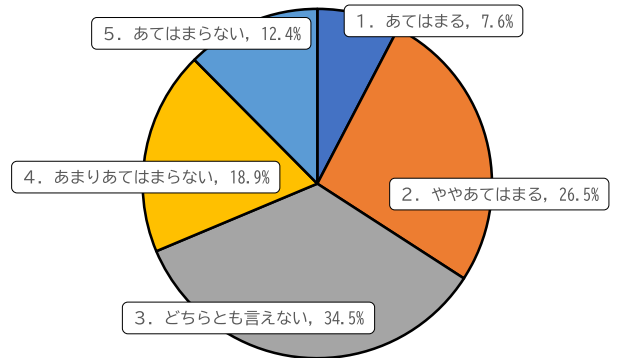
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	11	4.4%
2. ややあてはまる	45	18.1%
3. どちらとも言えない	91	36.5%
4. あまりあてはまらない	75	30.1%
5. あてはまらない	27	10.8%
合計	249	100.0%



【問6】”新しいものを生み出す力について”

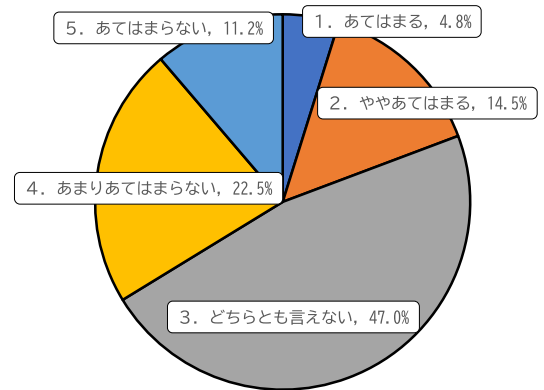
(1)ご自身や勤務先には、新しい事業や新しい商品・サービスを積極的に活用しようという姿勢がある。

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	19	7.6%
2. ややあてはまる	66	26.5%
3. どちらとも言えない	86	34.5%
4. あまりあてはまらない	47	18.9%
5. あてはまらない	31	12.4%
合計	249	100.0%



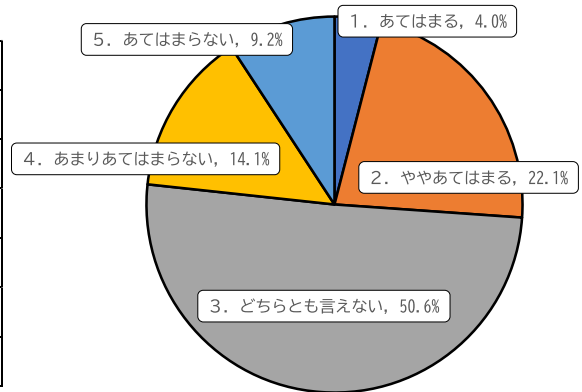
(2)お住まいの市・町では、新しい事業を始めたり、新しい商品・サービスを生み出しやすい環境が整っている。

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	12	4.8%
2. ややあてはまる	36	14.5%
3. どちらとも言えない	117	47.0%
4. あまりあてはまらない	56	22.5%
5. あてはまらない	28	11.2%
合計	249	100.0%



(3)お住まいの市・町では、学校や地域において、子どもたちに対する創造力(新しいものを生み出す力)を育む教育や取組がされている。

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	10	4.0%
2. ややあてはまる	55	22.1%
3. どちらとも言えない	126	50.6%
4. あまりあてはまらない	35	14.1%
5. あてはまらない	23	9.2%
合計	249	100.0%



【ご意見等】

その他、滋賀県の産業振興施策について、ご意見がありましたらお聞かせください。(抜粋)

・”2030年の姿”の「琵琶湖上でドローンが飛行し、買い物の利便性の向上」の実現に向けて、来年開催される大阪万博で導入される予定のドローntaxiを滋賀で数台導入し、当該”姿”の「具体的な動き」で「県のやる気」が県民に見えるようにしていただければありがたいです。

・今回の質問にある「想像力」に関しては、それを鍛える・活かす場が少ないと感じている。特に小学生や中学生が想像力を発揮できる場を整える必要があり、現状は各生徒が自ら(半ば親から言われて)アイデアコンテストに出場している状態だと思う。滋賀県は意外にも製造業が盛んなので、もう少し子供たちに「ゼロから考える力」を培ってもらう仕組みが必要だと感じている。

・ここは、就労しやすいとは言えない。子どもたちも、地域のことを学ぶ機会があまりなく、地元の良さをあまり知らないと思います。なので、大きくなったら県外に出ると言っているため、滋賀県の良いところ、また就労環境についても学生の間によく知る機会を作り、たとえ大学で県外にでても、得た知識を活かして地元で働きたい、貢献したいと思える地域づくりが必要だと思いました。

・起業家を地域全体で支えるような支援事業に期待しています。

・滋賀県の産業振興施策はやや手緩いと感じている。企業説明会や就労フェアをもっと頻繁に開催する等積極的な事業の推進を望む。

・企業が地元住民と一緒に取り組んで出来るイベントなどを支援出来るようにして頂ければ有難いです。

・観光客が増えて欲しい。何も無い県のイメージを払拭して欲しい。

・滋賀ならではの美味しい食材はたくさんあると思います。しかし、県内のデパートでは、他県の名物に人が集まっている印象があるので、よく知っている地元の食材の良さを再認識できるような場を増やしてみてもどうかと思います。

・2030年に向かってどのような姿でいたいのか、滋賀が存在していくミッション、日本に文化的・産業的に発揮できる価値は大きいと思います。滋賀の地域・人でみんなでこの目標を共有し、県民の生活の中に浸透していくことを願います。

・県の南部と北部、湖東と湖西では少し差異はあるが、総じて言うと自然に恵まれ、渡来文化から派生した文化と産業の基盤があり、各種工業も誘致されている。一部の市町村で映画村を作るとか大学を誘致するとかの経済優先のニッチな施策が見受けられるが、一次産業から三次産業まで、職と住が隣接して余暇を楽しむ時間がある、地産地消で食の自給率も高いなど豊かな暮らしにつながる産業振興と町作りで「近畿で住みたい県 No.1」を目指すような施策を採っていただけたらと思います。

・高齢者の生きがいや移動手段・医療介護の在り方について、より有意なあり方を実現して欲しい

・滋賀県の産業振興施策は、概ね順調に推移しているのではないのでしょうか。第一次産業から第三次産業までがそれなりの割合で分布しており、滋賀県の2020年の所得水準も都道府県ランキングでは6位となっているのがその証左だと思います。

・年々地元の公共交通機関がダイヤ縮小で減少。特に主要鉄道機関への路線バス時間帯が減少しています。車は増えているが路線バス利用者が減っている現状で全国の多くの自治体と似たような現状で本当に知恵をしぼる必要を感じます。

・滋賀県は立地状況から見たら、企業が多く有ったら良いと思います。企業誘致を進めて欲しいと思います。

・滋賀県は全国的に見ると物流・販売網があるという評価もあるが、県内での人の移動や物流については課題が多い。滋賀交通ビジョンが現在、検討されているが産業振興についても滋賀交通ビジョンと深く関係する。県内には上場企業で世界的に有為の企業があるが、広く知られていない。若者の働く場所として県外からの企業誘致として市町ともにいろいろな施策を推進して欲しい。

・自営業なのでスキルアップは自分次第というところがあります。コロナ禍開けで対面の仕事が増えた一方、コロナ禍で培ったオンライン会議などのノウハウは、働き方の選択肢を増やすことに繋がっているとは思いますが。大津市は、歴史的な魅力にあふれているまちなのに、観光振興の面でも産業の面でも生かしておらず、どんどん寂しくなっているように思います。駅前も、お隣の草津市とは賑わいがまったく違いますし、地元の産業という面では、東近江市や甲賀市のように農産物をアピールしたり、地元企業とコラボしたりというようなことが足りていないと思います。